

2017年10月15日発行

K



(公社)神奈川県理学療法士会ニュース

The Kanagawa
Physical Therapy Association
News

P

10 2017
October
No.273

http://www.pt-kanagawa.or.jp

A

Kanagawa Physical Therapy Association

○発行 | 神奈川県理学療法士会 ○代表 | 林 克郎 ○編集 | 今井 祐子

○発行所 | 〒220-0003 横浜市西区楠町4-12 アーリア20 101号 Tel.045-326-3225/Fax.045-326-3226 E-mail:jimukyoku@pt-kanagawa.or.jp

○会員数

[29.9.1現在]

5,153名

Contents

P1▶巻頭言 P2▶活動報告/会員ライフサポート部活動報告61報 P6▶研修会・講習会 P12▶会長行動報告
P13▶information P16▶編集後記/原稿送付先

巻頭言



時代時代になしうる理学療法士の意義

国家公務員共済組合連合会
虎の門病院分院 市川 雄大

当院の基本理念は、「医学への精進と貢献、病者への献身と奉仕を旨とし、その時代時代になしうる最良の医療を提供すること」です。現代はみなさんにとって、どのような時代でしょうか。

日本の高齢化率は26%を越え、超高齢社会の次の段階へ進もうとしています。介護給付費は現在年間約10兆円であり、2025年には約20兆円まで増加すると推計されています。後期高齢者が増加することで課題とされている2025年問題は、理学療法士の活躍が期待される事柄の1つです。厚生労働省は、この2025年問題の対策として、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援を目的に、地域包括ケアシステムを導入しました。当院も2016年から地域包括ケア病棟が開設され、対応に奔走している日々です。この病棟では、入院日数が短期間であることから、より迅速かつ的確な臨床的判断が必要であり、多職種を含めたマネジメント能力が問われると考えています。住み慣れた地域で、生活を最後まで続けることが求められているため、より人生を見通せる、理学療法士の必要性が高まっているように感じます。

サルコペニアやフレイルという言葉は、近年メディアでも取り上げられることが増え、介護予防という言葉もよく耳にするようになりました。高齢者に対する研究において、身体機能の改善は見込めることが分かっており、日本理学療法士協会も積極的な参加を推進しています。しかし、介護予防事業への平均参加率は、1%に満たず、その参加者も健康意識の高い高齢者が大半を占めています。そのため、高齢者を対象とした研究の成果に関しても、その解釈には注意が必要です。また、身体機能の改善だけでは不十分な結果とみなされる傾向も強まっており、実際に介護認定率を改善出来ているかに目を向ける必要があります。理学療法士が、介護予防にどの様に関わっていくかは、問われ続ける課題であるでしょう。理学療法士にしか出来ないその職能を確立し、多職種連携

による介護予防の必要性が、この先も強まると考えます。

がんリハビリテーション料が算定可能となって、約7年が経ちました。私が現在の回復期病棟に所属する以前は、多くのがん患者に出会いました。特に印象的であるのは、白血病患者との関わりであり、私の理学療法哲学の根底となっています。がんリハビリテーション領域では、運動療法が強く推奨されています。しかし、化学療法の副作用による嘔吐、下痢などで苦しむ患者を前に、それを提供することに苦慮した経験が何度もありました。理学療法士は何ができ、何を求められているのか、その経験から常に考えるようになりました。患者の体調不良の訴えを、やる気がない、言うことを聞かない患者と理学療法士が見なし、介入を制限していることがあります。しかし、患者が訴えたいことは他にあるのではないのでしょうか。不安や苦しみに耐え、それを表現できずに困惑している患者を、理学療法士が感じとる必要があります。真に伝えたい事は何か、それを汲み取ることが、理学療法介入には欠かせない技術であり、がんリハビリテーション領域では、特に重要だと考えています。

現代は、介護予防やがんリハビリテーションなど、理学療法士に多くの期待が寄せられています。しかし、科学的根拠は十分とは言えず、さらなる貢献が必要です。科学は発展し、さらに多くのことが分かるでしょう。これらの情報に取り残されぬよう日々精進し、吟味することが重要です。そして、患者の求めていることを考慮し、理学療法を遂行することが必要でしょう。これからは、社会保障制度などの変化があり、厳しい現実を突きつけられる可能性もあります。しかし、理学療法士のなすべきことは、患者の全人的復権に向けた働きです。変わりゆく時代の中でも、この理学療法士の変わらない思いが、新しい時代に向けた原動力になるのではないのでしょうか。

活動報告

育児休暇をとって感じたこと ～パパPTからの育休報告～

川崎市立多摩病院 西山 昌秀

会員ライフサポート部
活動報告 第61報
職場環境を考える

40歳を過ぎて、もう子供は難しいかもと考えていましたが、今年男の子を授かる事が出来ました。職場の上司や同僚の理解もあり、退院後2週間育児休暇を取ることも出来ました。最近では男性の育児休暇の取得も珍しくなくなってきましたが、それでも女性の取得より著明に少ないのが現状です。貴重な経験と考えましたので報告させていただきます。

多くの女性は実家に帰って、家族のサポートを受け、体調を回復させて行くと思います。今回は妻と相談してそのサポートを実家の両親ではなく、私が行う事になりました。実際行った事は、買い物、掃除、洗濯、ミルクの準備、おむつ替え、抱っこなど出来る事は何でも行いました。妻も思ったより産後、動くことが出来て2人で家事を分担して行えたので家事、育児自体は無難に行えました。ただし、その中で非常にしんどかったのは夜間に起きて、ミルクの準備をすることでした。起きて、すぐに行動するというのが非常に大変でした。ミルクの粉を入れて、温度の調節をする。それが2-3時間おきにやってくる。寝不足で日中もボーっとしていたのを覚えています。また、抱っこで寝かしつけるのも非常に難しく、結局私が寝かしつけられたのも2週間で数回、それ以外は妻が寝かしつけていました。育児休暇前は、やる気さえあれば何とかかなと考えていたのですが、それは全く違いました。やる気だけではどうにもなりませんでした。

しかし、その苦労以上に感じたのは、子供の成長を日々感じられるという幸せでした。開かなかった目が開く様になり、か細い声が大きくなり、あまり動かなかった手

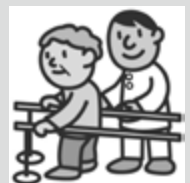
足が強く速く動く様になり、たった2週間でも子供の成長を多く感じる事が出来ました。もし、妻が実家に帰省していたら、細かな子供の成長や育児の大変さなどあまり感じる事が出来なかったと思います。

現在、日本でも男性が少しずつ家事や育児を行う様になっているようですが、世界基準で考えると、まだまだ男性が仕事をして、女性が家事をするのが当たり前です。そのため、男性は育児休暇などを取らなければ子供と長期間一緒に過ごすことが出来ることはなかなかないと思います。今回は「育児休暇」という非常に貴重な経験をさせて頂きました。状況が許せば、男性もぜひ育児休暇の取得をお勧めします。



◆平成29年度復職支援実務研修のお知らせ◆

- 【目的】もう一度働きたいけど臨床から離れた不安から躊躇されている方に、現場での見学や研修を通して自信をつけてもらうことを目的とした研修です。
- 【対象者】離職中の神奈川県理学療法士会会員（離職の理由は不問、復職先が決まっている方は対象外）
- 【研修先】希望の地域、職域（回復期、訪問リハなど）を元に相談させていただきます
※研修先として確約いただいている施設はホームページに掲載しています
掲載されている施設以外も交渉していく予定ですので、お気軽にご相談ください
- 【期 日】5時間×1～5日間分（連続5日間でもOK。期日や研修の方法は相談して決めます）
- 【参加費】1日につき1,000円 【申込締め切り】平成30年2月28日
- 【問い合わせ先】下記までメールでお願いします。詳しくは県士会ホームページをご覧ください
lifesupport@pt-kanagawa.or.jp（ライフサポート部 寺尾）





第35回神奈川県理学療法士学会 - プログラムと準備の進捗状況 (2)

第35回神奈川県理学療法士学会の準備状況をお伝えいたします。今回は若い力を応援する学会となるよう検討しております。さらに、参加頂く方々にとって有意義な学会となるよう、準備委員一同、日々準備を進めております。一人でも多くの会員の皆様にご参加頂けるよう、お願い致します。

学会テーマ

「神奈川で育む理学療法士モデル」

制度や社会情勢が著しく変化する昨今、一体どのような理学療法士像が期待されているのでしょうか。そして自分たちは、日々どのような理学療法士であろうとしているのでしょうか。神奈川県は全国の中でも会員数の多い組織となっています。社会から期待される職種であるためにどうして行くべきか、皆さんも一緒に考えましょう。

口述・ポスター発表の場を経験しよう！

昨年同様、少しでも多くの方に発表して頂ける様プログラムを設定しております。是非、熱い議論を繰り広げて頂きたいと思っております。

県民公開講座

男子サッカー・ユース日本代表チームドクター
女子サッカー・なでしこジャパンチームドクター
京都パープルサンガチームドクター

原 邦夫 (はら くに) 先生

サッカーの日本代表チームのチームドクターとして活躍されている原先生より、医師の立場から様々なお話をさせていただきます。東京オリンピック・パラリンピックを控え、一般県民や関連職種の方々にとって、大変興味深いお話を伺えるものと思っております。

シンポジウム

様々な分野で活躍されている理学療法士の方々にお話し頂きます。日々の業務の中で深めていらっしゃることや、理学療法士の強みを生かしたプラスアルファの活動についてのお話は、若い理学療法士の方々だけでなく経験のある理学療法士の方々にとっても、刺激を受ける内容になると思っております。

県士会活動紹介

県士会活動は通常行われている各部局行事、県士会ニュース等により会員に案内、周知されていることと思います。しかしながら、普段は中々身近に感じる機会がないのではないのでしょうか。「県士会活動について直接話を聴ける」「今まで知らなかった県士会活動を知る」、絶好のチャンスです。

学会当日の運営のお手伝いを募集します！

受付・場内誘導・タイムキーパー等のお手伝いをしてくださる方を募集しております。学会ホームページより奮って申し込みください。

託児所をご利用ください！

今回の学会でも、託児所を用意する予定です。子育て中の会員の皆様、是非ご利用ください。申し込み方法については、学会ホームページにてお知らせいたします。

*学会に関する最新情報は、(公社)神奈川県理学療法士会ホームページ、あるいは学会ホームページよりご確認ください。

学会HP：<http://congress-kpta.jimdo.com/>

【開催日時】平成30年3月25日(日) 9:00～17:15

【開催場所】パシフィコ横浜 3階



活動報告

ヨコハマ・ヒューマン&テクノランド2017に参加しました。

(公社)神奈川県理学療法士会 公益事業推進部/災害対策委員会

平成29年7月28日(金)、29日(土)の2日間パシフィコ横浜展示ホールDにおきまして、社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団主催「ヨコハマ・ヒューマン&テクノランド2017」が開催されました。

今年で16回目の開催となるヨコハマ・ヒューマン&テクノランド2017の展示テーマは「暮らし」。入浴やトイレ、家の中の移動、調理、コミュニケーションなど、毎日の暮らしのなかにあるちょっとした不便を「快適」にしていくための役に立つ活きた情報・アイデアが豊富にラインナップされました。

本会公益事業推進部では、これまでも本会の取り組みや理学療法(士)を多くの方に知ってもらうことを目的に、理学療法(士)の紹介や理学療法フェスタのリーフレット配

布を行ってきました。今年はリーフレット配布に加え、車椅子乗車体験ブースのサポートも行いました。

また理学療法士は、災害が起きた際には被災された方々の生活を支援することや避難所での生活不活発病を予防する活動も行っています。災害対策委員会では「災害時に必要な備えや避難時に活用できる福祉用具」をコンセプトにした様々な展示とこれまでの委員会の取り組みを紹介しました。



展示ブースでは、理学療法(士)やリハビリテーションについてのご相談、災害時のトイレや緊急時の搬送用具の紹介、乳幼児やアレルギー児への対応マニュアルやヘルプマークについて展示しました。2日間を通して多くの問い合わせ、ご質問をいただきました。

車椅子乗車体験ブースでは、学生を中心に多くの参加者が来てくれました。車いすの構造や介助方法について知ってもらう機会となったのではと思います。

多くの方に車椅子体験や展示ブースへご参加いただきま

した。本当にありがとうございました。また、企画・運営にご協力いただきました社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団の方々、当日の運営を手伝っていただいたボランティアスタッフの皆さまも本当にありがとうございました。

今後もリハビリテーションや理学療法(士)の普及を目的として様々な企画・運営をしていきたいと考えています。今後も皆様のご参加・ご協力をお願いいたします。



(公社) 神奈川県理学療法士会 災害対策委員会 講師派遣事業報告 伊勢原リハビリ地域医療介護連携会に参加しました。

講師担当 (公社) 神奈川県理学療法士会 災害対策委員会 西澤 茂子

平成29年7月18日(火) 伊勢原協同病院にて行われた「伊勢原リハビリ地域医療介護連携会(以下、連携会)」の研修会として災害対策に関する講話の機会をいただきました。

連携会は、伊勢原協同病院リハビリテーション室の須貝勝氏が主催責任者として昨年に発足された会です。これまでに、伊勢原市内のリハビリテーション職と協働して定期的に研修会を開催していて、多くの医療・福祉関連職種が参加し活発な活動をしています。

今年度の活動のテーマとして、“伊勢原市内リハビリテーション職や関連職種の連携を強めるとともに、地域包括ケアシステムの構築に向けた「まちづくり」への貢献”を掲げていて、その一環として本研修会が開催されました。当日は激しい雷雨にも関わらず、病院やクリニック、訪問リハビリに従事するリハビリテーション職の他、地域包括支援センター職員など多職種の方にご参加いただき皆様の関心の高さが伺えました。

内容は「災害時のリハビリテーション支援-理学療法士の役割-」について1時間の講話を行いました。具体的には災害対策委員会の平時及び発災時の活動をはじめ、災害時に理学療法士がどのような役割を担う必要があるのか、役割を担うためには平時からどのような活動が必要なのかについてお話をしました。避難所のリハニーズの状況把握や環境調整、リスクを想定した生活不活発病予防の運動指導など、理学療法士の専門性を活かした支援を発災時にできる限り迅速に且つ効率的に行うためには、日頃から地域の関連職種が強い連携を取りチームとして活動できることが必要となります。講話後にはディスカッションも行われ、連

携会の活動テーマである“地域包括ケアシステムの構築に向けたまちづくり”がそのまま災害対策に繋がるとの気づきがあったという言葉も聞かれました。会員内でもまだ認識が不足している災害リハビリテーションについて養成校の教育に組み込まれると良いのではないかとといった意見や、伊勢原市の地形の特徴から想定される災害について、伊勢原市と締結している協定についてなど、多職種の知識や見解も聞かれる貴重な研修会となりました。

災害対策委員会では地域防災をキーワードに災害支援ネットワークの構築を目指した研修会やキャラバンの開催の他、災害支援対策関連の勉強会、研修会の講師派遣を承っています。興味のある方は積極的にお声かけください。



研修会・講習会

●県士会主催

平成29年度 基礎理学療法領域講習会のお知らせ (公社)神奈川県理学療法士会生涯学習部

テーマ：姿勢・運動制御の基礎

内容：私達が姿勢を安定させたり意図した運動を遂行したりできる背景には、筋骨格系の構造や機能、神経系の機能、感覚機能、認知機能など、様々な基本的な能力が関わっています。今回の講習会では、ヒトの姿勢および運動制御を理解することをメインテーマとして、これらの基本的な機能が姿勢・運動制御にどのように関わっているかを運動学習や運動イメージなどの知見と合わせて改めて理解したいと思います。また、臨床現場において姿勢や歩行の安定性を得るために多く用いられている「杖」の使用について、その影響(利点・欠点)をご紹介します。

日時：同じテーマで日時・会場を変えて2回開催いたします。お申し込みの際は、ご注意ください。

1回目：終了

2回目：平成29年11月11日(土)9:40~12:40(受付開始:9:20)

会場：2回目：横浜市水道会館(最寄駅：相鉄線「天王町」駅)

講師：渡邊 観世子 先生(国際医療福祉大学)

受講料：本会員2,000円、他都道府県士会員5,000円
受講料は事前に振込みをするか、楽天カードでの引き落としとなります。

振込みの場合は手数料をご負担ください。入金確認ができましたら、受講登録が完了します。入金の確認が出来なかった場合はキャンセル扱いとさせていただきます。キャンセルについては講習会当日まで可能ですが、入金後の受講費の返還はされませんのでご了承ください。

申込方法：日本理学療法士協会「マイページ」から、事前Web登録をお願いします。神奈川県理学療法士会ホームページの[講習会・研修会情報]をご参照ください。

申込受付期間：1回目：終了

2回目：平成29年9月11日(月)~平成29年10月22日(日)
(現金振込の場合)

平成29年11月1日(水)(楽天カードの場合)

定員：120名(予定)

(先着順。定員に達した時点で締め切りとなります。)

対象：理学療法士

単位認定：履修ポイントについては現在、詳細を検討中なので、判明次第、本会ホームページにアップしていきます。最新情報は、本会ホームページで確認してください。

お問合せ先：(公社)神奈川県理学療法士会 事務局

E-mail：office@pt-kanagawa.or.jp

お問合せはメールでお願いします。

平成29年度 神経理学療法領域講習会のお知らせ (公社)神奈川県理学療法士会生涯学習部

テーマ：運動学・運動力学的視点からみた、脳卒中片麻痺の理学療法の再考

内容：近年の脳科学を中心とした神経科学の進歩により、脳卒中患者に対する治療展開の考え方は大きく変わってきているように感じます。一方で変わらないことは、理学療法士は多くの場合が身体外部からの刺激を介したアプローチをするということです。臨床では同じ環境で同じ課題を行っていても、ちょっとしたアライメントや姿勢・筋緊張の違いで、患者の反応が全然違うということをよく経験します。これは、アライメントや姿勢が違ふことによって、患者に入る刺激の意味が変わることではないでしょうか？最新の知見を理学療法に活かすためには、「セラピストの関わりが患者にとってどのような刺激になっているのか」という側面の理解を深めることも重要です。本講習会では、そのための有用なツールの一つである運動学・運動力学という視点から、脳卒中片麻痺の運動療法を考えていきたいと思っています。

日時：同じテーマで日時・会場を変えて2回開催いたします。お申し込みの際は、ご注意ください。

1回目：終了

2回目：平成29年11月25日(土)13:40~16:40(受付開始:13:20)

会場：1回目：終了

2回目：横浜ビジネスパーク 大会議室(最寄駅：相鉄線「天王町」駅)

講師：溝部 朋文 先生(横浜市立脳卒中・神経脊髄センター)

受講料：本会員2,000円、他都道府県士会員5,000円

受講料は事前に振込みをするか、楽天カードでの引き落としとなります。振込みの場合は手数料をご負担ください。入金確認ができましたら、受講登録が完了します。入金の確認が出来なかった場合はキャンセル扱いとさせていただきます。キャンセルについては講習会当日まで可能ですが、入金後の受講費の返還はされませんのでご了承ください。

申込方法：日本理学療法士協会「マイページ」から、事前Web登録をお願いします。

神奈川県理学療法士会ホームページの[講習会・研修会情報]をご参照ください。

申込受付期間：1回目：終了

2回目：平成29年9月25日(月)~平成29年11月5日(日)(現金振込の場合)
平成29年11月15日(水)(楽天カードの場合)

定員：180名(先着順。定員に達した時点で締め切りとなります。)

対象：理学療法士

単位認定：履修ポイントについては現在、詳細を検討中なので、判明次第、本会ホームページにアップしていきます。最新情報は、本会ホームページで確認してください。

お問合せ先：(公社)神奈川県理学療法士会 事務局

E-mail：office@pt-kanagawa.or.jp

お問合せはメールでお願いします。



平成29年度 発達障害理学療法領域講習会のお知らせ

(公社)神奈川県理学療法士会生涯学習部

テーマ: 小児理学療法入門
～脳性まひ児に対する理学療法を考える～

内容: ①発達の評価・解釈について具体的方法を知る。
②脳性まひの定義・分類(タイプ、麻痺の分布、重症度)から治療方針を考える。
③成人脳卒中患者と比較して脳性麻痺児の運動障害・運動学習のあり方の違いを理学療法プログラムに生かす。
④合併症として発達障害(自閉症スペクトラム、ADHDなど)を持っている脳性麻痺児の臨床について知る。

日時: 同じテーマで日時・会場を変えて2回開催いたします。
お申し込みの際は、ご注意ください。
1回目: 終了
2回目: 平成29年12月10日(日)
13:40～16:40(受付開始:13:20)

会場: 1回目: 終了
2回目: 国際医療福祉大学(最寄駅:JR「小田原」駅)

講師: 萩原 聡 先生(横浜市東部地域療育センター)

受講料: 本会会員2,000円、他都道府県士会員5,000円
受講料は事前に振込みをするか、楽天カードでの引き落としとなります。振込みの場合は手数料をご負担ください。
入金確認ができましたら、受講登録が完了します。入金確認が出来なかった場合はキャンセル扱いとさせていただきます。キャンセルについては講習会当日まで可能ですが、入金後の受講費の返還はされませんのでご了承ください。

申込方法: 日本理学療法士協会「マイページ」から、事前Web登録をお願いします。
神奈川県理学療法士会ホームページの[講習会・研修会情報]をご参照ください。

申込受付期間: 1回目: 終了
2回目: 平成29年10月10日(火)～平成29年11月20日(月)
(現金振込の場合)
平成29年11月30日(木)(楽天カードの場合)

定員: 40名(予定)
(先着順。定員に達した時点で締め切りとなります。)

対象: 理学療法士

単位認定: 履修ポイントについては現在、詳細を検討中なので、判明次第、本会ホームページにアップしていきます。最新情報は、本会ホームページで確認してください。

お問合せ先: (公社)神奈川県理学療法士会 事務局
E-mail: office@pt-kanagawa.or.jp
お問合せはメールでお願いします。



研修会・講習会

臨床実習教育部研修会のご案内

テーマ:「動作評価・練習の指導方法—学生への指導のポイント—」

内容:起居動作や日常生活動作の再獲得は、リハビリテーションの主要な目標の一つです。しかし、これらの動作を評価し、練習へとつなげる過程は学生にとって非常に難しく、臨床実習や学内教育においても、指導に難渋することが多い内容です。

そこで、今回は「動作評価・練習の指導方法—学生への指導のポイント—」をテーマとし、大森圭真先生にご講演いただくことにいたしました。大森先生は、日常生活動作や基本動作障害に対して行動分析的な分析と介入を行っています。日頃、学生の指導に悩む先生方に、多くの示唆を与えてくださるものと思います。多数のご参加をお待ちしております。

日時:平成30年2月17日(土)13:00~16:00
(受付開始12:30~)

会場:相模原市立市民・大学交流センター
ユニコムプラザさがみはら
〒252-0303 相模原市南区相模大野3-3-2
bono 相模大野サウスモール3階
(小田急線 相模大野駅下車)

講師:大森 圭真 先生(湘南医療大学)
受講料:無料

申込方法:日本理学療法士協会「マイページ」から、事前web登録をお願い致します。

神奈川県理学療法士会ウェブサイト[講習会・研修会・イベント情報]をご参照ください。

登録期間:平成29年12月19日(火)~平成30年2月2日(金)

定員:80名

対象:(公社)神奈川県理学療法士会会員

単位認定:有り

- 1) 新人教育プログラム履修者
理学療法における人材の育成 E-1 臨床実習指導方法論
- 2) 認定・専門理学療法士制度 専門分野登録者(旧専門領域研究部会):10ポイント

<教育・管理理学療法専門分野>

- ① 認定理学療法士(臨床教育)
- ② 認定理学療法士(学校教育)
- ③ 専門理学療法士

お問合せ先: E-mail: rinsho-jissshu@pt-kanagawa.or.jp

臨床実習教育部長 坂本 美喜
(北里大学医療衛生学部)

平成29年度 災害対策キャラバン 相模原ブロック開催のお知らせ

(公社)神奈川県理学療法士会 災害対策委員会

テーマ:相模原ブロックの災害時における行政の支援体制とリハビリテーションの連携について

内容:2011年の東日本大震災より、被災者の生活支援を中心とした災害リハビリテーション活動が理学療法士に期待されるようになってきました。行政の災害時支援体制の確認、有事の際に有効に機能する行政との連携ネットワークの構築を目指して各ブロックごとに開催している研修会が災害対策キャラバンです。8回目となる今回は相模原ブロックでの開催です。

日時:平成29年10月31日(火)19:00~21:00
(受付開始18:30)

会場:相模原協同病院 治療棟会議室(2階)
相模原市緑区橋本2-8-18

交通:橋本駅南口より徒歩5分(横浜線・相模原線・京王相模原線)

講師:渡邊 裕之 氏(北里大学医療衛生学部)

新田 英夫 氏(相模原市危機管理局緊急対策課)

目代 弥美 氏(相模原市健康福祉局保健所地域保健課)

受講料:無料

申込方法:日本理学療法士協会「マイページ」から、事前Web登録をお願いします。神奈川県理学療法士会ホームページの[講習会・研修会情報]をご参照ください。

申込受付期間:平成29年9月11日(月)~平成29年10月23日(月)

定員:80名

対象:神奈川県士会員・他士会員・会員外(多職種)

単位認定:無

お問合せ先:(公社)神奈川県理学療法士会 災害対策委員会

E-mail: saigaitaisaku@pt-kanagawa.or.jp



平成29年度（公社）神奈川県理学療法士会 鎌倉ブロック研修会のお知らせ

テーマ：第2回 産前・産後ケアセミナー

～産婦人科領域から考える骨盤底筋群の基礎知識～

内容：近年ウイメンズヘルスの研究や活動が盛んになってきており、リハビリテーション領域でも注目が集まっています。特に、産前産後領域でのニーズは高まりつつあるため、今後はさらなる発展が期待されます。「産前・産後領域を勉強したい」「妊婦さんのリスク管理は何に気をつければ良いの？」など、この領域に興味のある方や実際に携わっている方は必見。今回はトラブルの発端となりやすい骨盤底筋群に特化し、基礎知識と実践的なアプローチを、実際に産婦人科領域に携わる理学療法士がお伝えします。

日時：平成29年11月11日(土)13：30～16：00
(受付開始13：15)

会場：鎌倉生涯学習センター(きらら鎌倉) 3階和室
(JR鎌倉駅徒歩3分)

講師：山崎 愛美 先生
(川崎 Women's Body Labo 代表・よしかた産婦人科)

受講料：本会会員：無料
非会員(作業療法士・言語聴覚士も含む)：300円
受講料は当日現金でのお支払いとなります。

申込方法：下記メールアドレス、もしくは下記申込みフォーム
で必要事項を記載の上、送信願います。

必要事項：①お名前(ふりがな) ②所属 ③協会会員番号 ④
お子様同伴の有無 ⑤同伴のお子様の年齢 ⑥連絡
用メールアドレス

メールアドレス：mama.care.shonan@gmail.com

申込みフォーム：https://docs.google.com/forms/d/1WylQXrrGw1Am5Ob9HQDyps61y-j_sn_HXQ_6jw_Ak/edit?usp=sharing

申込受付期間：平成29年10月15日(日)～11月5日(日)

定員：20名
(先着順。定員に達した時点で締め切りとなります。)

対象：理学療法士・作業療法士・言語聴覚士

単位認定：なし

その他：男女問わず・お子様連れでの参加可能(託児ではなく
スタッフによる見守り)
授乳室・オムツ替えスペースあり
持ち物：フェイスタオル (実技も行うため、動きや
すい服装でご参加ください)

お問合せ先：mama care 湘南(代表 安藤)
E-mail:mama.care.shonan@gmail.com
お問い合わせはメールでお願いします。



研修会・講習会

統計ソフトの使い方～統計ソフトRを用いた入門演習 研究支援部講習会のお知らせ

内 容：臨床データを学会などの発表の形にまとめるのに統計ソフトは有用ですが、多くは高価であるため個人で所有することが困難です。「統計ソフトR」は無料公開されている統計ソフトですが、「使い方がわからない」という声を多く耳にします。そこで本講習は、実際に「R」をインストールしたPCを使った演習を1から行います(高齢者の理学療法を題材)。
*注意事項：受講者はノートPC(windows)に「R」をインストールした上でご来場ください。インストールは統計科学研究所のページを参考に行ってください。
http://www.statistics.co.jp/reference/software_R/free_software-R.html

日 時：平成29年12月2日(土)、受付開始時間：8:30、講習会開始時間：9:00、終了時間：12:00
会 場：横浜リハビリテーション専門学校 視聴覚室
神奈川県横浜市戸塚区品濃町550-1
講 師：上出 直人 先生(北里大学医療衛生学部)
池田 崇 先生(昭和大学保健医療学部)
生僻辞：運動器でのポイント付与予定
受 講 料：会 員：2,000円
非会員：5,000円
申込方法：マイページからの申込(日本理学療法士協会員)
申込開始日：平成29年10月1日(日)
定 員：40名



Gift

オリジナルカーシート
(150センチ程度まで)

日本ウイール・チェア株式会社
〒188-0014 東京都西東京市芝久保町2-22-31
TEL 042-463-1511 FAX 042-463-3730

そのほか当社では
福祉用具レンタル・販売
も取り扱っています



NIHON WHEELCHAIRS

<http://nwc-kurumaisu.com/>



●他団体

6日で学ぶ評価・治療の為の骨・筋の触診セミナー Basicコース 3ヶ月で信頼される療法士になりませんか?

テーマ: 触診を通して患者様・利用者様のリハビリをデザインできるようにする。

内容: 1か月目 体幹編2日間

2か月目 上下肢編1

3か月目 上下肢編2

それぞれ触診・関節モビライゼーション・筋膜リリース・症例検討等を行います。

※詳しい内容はHPよりご確認ください。

<http://lts-seminar.jp/syokushinbasic/>

開催日時: 第5期平成30年(第1土日)

1月6・7日、2月3・4日、3月3・4日

9:30~16:30

※日程の都合がつかない場合は別の日程へ振替も対応いたします。

会場: ウィリング横浜 ゆめおおおかオフィスタワー

〒233-0002 横浜市港南区上大岡西1-6-1 ゆめおおおかオフィスタワー内

定員: 24名限定

(講師が一人ひとり触診部位を確認し、修得することを第一とするため少人数にさせていただきます。)

受講料: 6日間で64,900円(税込)

※テキスト代含む

※特典「評価の抽出方DVD」付き

講師: 大塚 久 理学療法士

平成27年5月療法士活性化委員会を立ち上げ、延べ1,200名の療法士が同委員会のセミナーに参加しております。

注意事項: お申込みはセミナーHPよりお願いします。

<http://lts-seminar.jp/syokushinbasic/>

主催: 療法士活性化委員会

お問合せ先: 療法士活性化委員会 事務局 加藤

lts-info@lts-seminar.jp

ADL訓練を効率的に行うための触診セミナー

内容: AM: ADLを効率的にするための骨・筋の触診

・肩甲骨の触診

・上腕骨大結節、小結節の触診

・棘下筋、肩甲下筋の触診

・大腰筋の触診

・近位脛腓関節の触診

PM: リーチ動作に対するアプローチの方法

・リーチ動作の評価

・関節モビライゼーション、筋膜リリースを用いたアプローチ方法

開催日時: 平成29年11月19日(日)10:00~16:00

会場: ウィリング横浜 ゆめおおおかオフィスタワー

〒233-0002 横浜市港南区上大岡西1-6-1 ゆめおおおかオフィスタワー内11F多目的室

定員: 24名限定

受講料: 8,900円(+税)

講師: 大塚 久 理学療法士

触診セミナーを70回以上、延べ1,200名が受講しております。

わかりやすい指導に定評があります。

注意事項: お申し込みは下記の申し込みフォームよりお申し込みください。

<https://business.form-mailer.jp/fms/7f8abb7e72034>

主催: 療法士活性化委員会

お問合せ先: 療法士活性化委員会 事務局 加藤

lts-info@lts-seminar.jp



研修会・講習会



科学的根拠に基づく腰痛の評価と治療法研修会 ～腰に触れる前に知っておきたい! 腰痛改善法の“大原則”～

テーマ:【疾病】ではなく【ひと】を治療対象に!

内容:腰痛の自己管理など「心身の健康」につながる行動を「自ら選択」できるようになることを援助する、対話的アプローチ技法の講義、実技を行います。その技法は、子育て、夫婦関係など、大切な人との関わり方をより良くするためにも幅広く活用できるものです。「腰痛の見方が180度変わりました」「即効性に驚きました」「今回の内容は目から鱗でした」などの感想を頂いております。

開催日時:平成29年11月3日(祝・金)9:50~16:50
会場:神奈川県立かながわ労働プラザ 第11会議室
定員:30名
受講料:12,852円(税込)

講師 赤羽 秀徳(あかは ひでのり)

- ・一般社団法人 国際統合リハビリテーション協会 理事
- ・一般社団法人 赤羽総合腰痛研究所 代表理事
- ・理学療法士
- ・選択理論心理士
- ・国際マッケンジー協会認定療法士

主催:国際統合リハビリテーション協会

お問合せ先:メールにて office@akahalabo.com までご連絡ください。



月	日	内容	場所
6月	7日(水)	第3回常任理事会	事務所
	13日(火)	第2回事業運営会議	事務所
	15日(木)	神奈川県医療専門職連合会事業運営会議	臨床工学技士会事務所
	18日(日)	ブロック情報交換会	横浜リハビリテーション専門学校
	18日(日)	第2回理事会	横浜リハビリテーション専門学校
	18日(日)	定時総会	横浜リハビリテーション専門学校
	18日(日)	保険医協会総会懇親会	横浜ベイシェラトンホテル
	25日(日)	診療報酬勉強会	横浜リハビリテーション専門学校
28日(水)	神奈川県医療専門職連合会総会	かながわ労働プラザ	
7月	5日(水)	第4回常任理事会	事務所
	8日(土)	第3回事業運営会議、拡大会議	事務所
	12日(水)	自民党ヒヤリング	県庁新庁舎
	18日(火)	キャリアデザイン検討本部会議	事務所
	19日(水)	神奈川県医療専門職連合会理事会	臨床工学技士会事務所
	27日(木)	地位向上委員会会議	事務所
8月	2日(水)	第5回常任理事会	事務所
	7日(月)	PT協会、スポーツ支援推進執行委員会	田町カンファレンスルーム
	16日(水)	田村ゆうすけ県議会議員情報交換会	横浜
	22日(火)	第3回理事会	事務所
	31日(木)	神奈川県スポーツ局スポーツ課障害者スポーツグループ、打合せ	県庁
31日(木)	神奈川県保健福祉局福祉部地域福祉課、打合せ	県庁	
9月	1日(金)	かながわパラスポーツ普及推進検討会	県庁



会長就任2期目に入り

(公社) 神奈川県理学療法士会 会長 林 克郎

去る6月18日の定時総会にて新役員が決定し、同日の理事会にて会長として林の続投が決まりました。今回の役員人事の特徴は、小山理事が退任され露木理事が復帰されました。小山前理事におかれましては長きに渡り大任を務めていただきありがとうございました。露木新理事におかれましては、前回の理事就任のときに比べ社会は変化し、会員の増加に伴い組織はずっと複雑化しニーズも多様化し、行政との連携も深化しています。優れた能力を遺憾なく発揮していただくようお願いします。

さて、今回の執行体制の大きな特徴は、本会の重点目標である「魅力ある互助共助組織への発展」、「行政機関との連携による理学療法士の活躍の場の醸成」、「魅力あふれる卒後研修システムの形成」について、3人の副会長にその目標に向けたかじ取りをお願いしました。

ニュース発行のタイミングでご報告が遅れましたが、役員全員、常にPDCAサイクルを念頭に会員ファースト、県民ファーストで取り組んでいきますので、お力添えの程よろしく願いいたします。

平成29年(2017年)9月5日

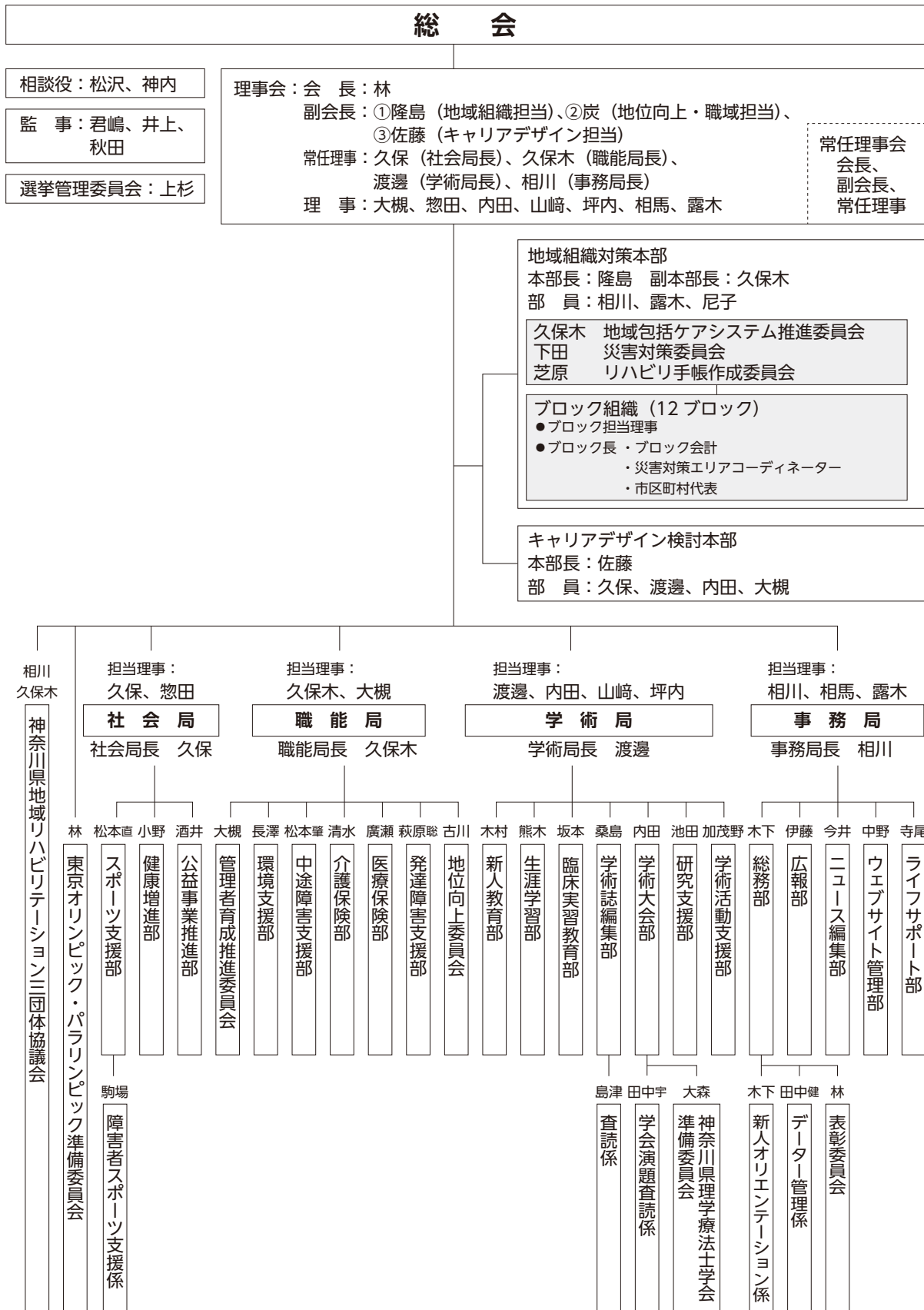
新執行体制

会長：林 克郎 (横浜リハビリテーション専門学校) 東京オリンピック・パラリンピック準備委員会担当	理事：内田 賢一 (神奈川県立保健福祉大学、リハビリテーション学科) 学術局、新人教育部・生涯学習部・学術大会部担当
副会長：隆島 研吾 (神奈川県立保健福祉大学、リハビリテーション学科) 地域組織対策担当(本部長)	理事：坪内 敬典 (茅ヶ崎リハビリテーション専門学校、理学療法学科) 学術局、臨床実習教育部・学術活動支援部担当
副会長：炭 孝昭 (太田総合病院、リハビリテーション室) 地位向上・政策担当(連盟会長)	理事：山崎 哲司 (横浜市総合リハビリテーションセンター、地域リハビリテーション部) 学術局、学術誌編集部・学術大会部・研究支援部担当
副会長：佐藤 史子 (横浜市総合リハビリテーションセンター、地域リハビリテーション部) キャリアデザイン検討担当(本部長)	理事：相川 浩一 (社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス) 事務局長、ライフサポート部担当 神奈川県地域リハビリテーション3団体協議会担当
理事：久保 雅昭 (湘南慶育病院) 社会局長、スポーツ支援部・健康増進部担当	理事：相馬 光一 (神奈川リハビリテーション病院、理学療法科) 事務局、総務部・広報部担当
理事：惣田 洋 (横須賀共済病院、リハビリテーション科) 社会局、公益事業推進部担当	理事：露木 昭彰 ((有)足柄リハビリテーションサービス) 事務局、ニュース編集部・ウェブサイト管理部 地域組織対策本部、リハビリ手帳作成委員会・災害対策委員会担当
理事：久保木あずみ (スギ訪問看護ステーション都筑) 職能局長、環境支援部・介護保険部・地位向上委員会 地域組織対策本部、地域包括ケアシステム推進委員会担当 神奈川県地域リハビリテーション3団体協議会担当	監事：君嶋 武司
理事：大槻かおる (タツミ訪問看護ステーション海老名) 職能局、管理者育成推進委員会・中途障害支援部・医療保険部・発達障害支援部担当	監事：井上 保
理事：渡邊 裕之 (北里大学医療衛生学部、リハビリテーション学科) 学術局長、生涯学習部担当	監事：秋田 裕

以上

平成 29 年度 (公社) 神奈川県理学療法士会組織図

平成 29 年 8 月 22 日



information



日本理学療法士協会会員証の運用について

会員の皆様方のお手元には「日本理学療法士協会 会員証」が届いていると思います。



今後、神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の参加受付の際に必ず必要になります。携帯する様にお願いします。

紛失・破損等による再発行は、有料（500円税別）となりますので、ご注意ください。

*再発行の申請については、日本理学療法士協会のホームページをご覧ください。

神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業

の申込をする際には、日本理学療法士協会ホームページの「マイページ」からの申込になります。

「マイページ」にログインするには、ID・パスワードが必ず必要となります。

*「ID・パスワード再発行」は「マイページ」（「ログインできない方は「こちら」をクリック）から再発行申請手続きを行って下さい。

【注意事項】

- ・再発行申請には個人のメールアドレスが必須となります。
- ・再発行申請後に仮受付メールが送信されます。仮受付メールに記載されているURLリンクを開いて、申請を完了して下さい。
- ・メール受信拒否設定されている方は『@ml.japanpt.or.jp』の受信を許可して下さい。

（公社）神奈川県理学療法士会
事務局長 相川 浩一

楽天カードへの手続きはお済みですか？

☆協会指定会費決済クレジットカードが楽天へ変わりました

☆楽天カードの主な特徴と機能

- 「楽天カード」はカード申し込みがネット上からでき、永年年会費無料。
- 会費（初年度除く）の自動引落しが可能です。
- 書籍購入（一部割引）等が可能となります。

*詳細については、日本理学療法士協会ホームページをご覧ください。

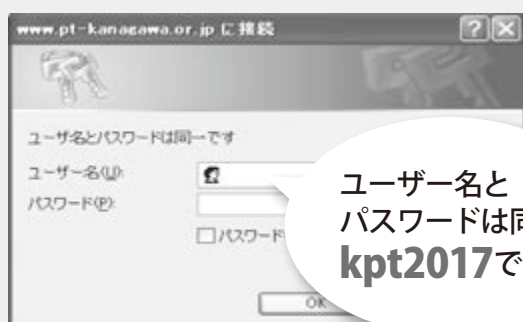
～申し込み方法～

①楽天カードへの新規申し込みを日本理学療法士協会ホームページの「[会員専用ページ](#)」より申し込み下さい。

*楽天カードを既にお持ちの方は、所定の手続きをしますとお手持ちのカードが決済カードとして利用可能です。日本理学療法士協会ホームページより「会員専用ページ」にてご確認ください、手続きを行って下さい。

（公社）神奈川県理学療法士会
事務局長 相川 浩一

アクセス認証が必要です！



本会ホームページの会員ページの（認証あり）と表示のあるサイトの閲覧時にはユーザー名とパスワードが必要です

パスワードは1年毎に変更になります
ご不明点は、トップページの「お問い合わせ」からお寄せ下さい

担当：ウェブサイト管理部

編集後記

自分の知らない世界に出てみると、世の中には秀でている人がいくらでもいるということを学びます。そして、己の力不足を知り、さらに学ぼうとする意欲が育まれると感じていきます。その一例として、今私が所属している大学院研究室の話をお話させていただきます。研究室には、リハビリテーションに関する大学院生は少なく、医学、歯学、心理学など様々な分野の人たちが、教員や大学院生として研究しています。指導教授は、知識を与えるためだけ教示ではなく、新しい知見や考え方の気づきを与えてくれるところが、知識不足を痛感させられるとともに学ぶ意欲を高めてくれる先生です。それは、大学院生だけに限らず、専門知識を持たない人たちに対しても、他の分野に関する専門知識を持つ人たちに対しても、話をする人の目線に合わせて分かりやすく伝えることができる先生です。また、専門分野以外であっても様々ことを熟知しているが、先生ができることとできないことを的確に見極め、「餅は餅屋」と素直に他へ委ねる姿には驚嘆しました。同時に、多数の業績を持つ先生であっても、客観的に見極められる力に感銘を受けました。知識が身に付いてくると、自分だけが崇高だと思いがちですが、自身を客観視し自分の能力を見極められるところに、私もそうありたいと思っています。秋の夜長、今一度自身を客観的に見つめ直し、本当の自分と向き合う時間に使うのもいいのではないのでしょうか。

(今井)

次号の原稿締め切りは平成29年**12月6日**です。

国際医療福祉大学小田原保健医療学部 (ニュース編集部宛)

news-hensyubu@pt-kanagawa.or.jp

〈原稿は添付ファイルをお願いいたします〉

※原稿受取確認を希望する場合は開封確認機能をご利用ください。円滑な編集作業へのご理解とご協力よろしくをお願いいたします。

◆ニュース編集部員◆

担当理事：露木 昭彰 (足柄リハビリテーションサービス)
 部長：今井 祐子 (国際医療福祉大学 小田原保健医療学部)
 部員：金子 達也 (国際医療福祉大学 小田原保健医療学部)
 鈴木 啓介 (国際医療福祉大学 小田原保健医療学部)



あなたの生活をサポートします



(有)木村義肢工作研究所

横浜市栄区安間三丁目40番5号 TEL045-892-5424 FAX045-894-2560
<http://www.kimura-gishi.co.jp/>